

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぶっときっず		
○保護者評価実施期間	2026年1月22日		～ 2026年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・十分な広さを確保した活動スペースを有している。	・子どもたちが安全かつ伸び伸びと活動できる環境。身体活動や集団活動にも適した空間であり、多様なプログラムの実施が可能。 ・活動内容に合わせて使用する部屋やスペースを分けることで、子ども達の気持ちの切り替えや、場面の切り替わりの理解に繋げている。	・部屋ごとにカード提示する事で、どのような活動をする場なのかの理解が深まるようにする。
2	・保護者の方が送迎を担う環境の為、保護者の方と対面でお話しする機会を多く持てている。	・資格や立場等、様々なスタッフが対応する事で、保護者の方の話しやすさや聞き取り方法に工夫を行っている。 ・個別療育や集団療育での取り組み内容を、実際に使用した教材や動画を提示して説明を行っている。	・療育内容を共有すると共に、家で出来る事のバリエーションを増やして提案する。
3	・日々の活動内容が充実しており、子どもたちにとって様々な刺激を受けたり、経験したりする機会が豊富である。	・スタッフ間で意見を出し合い、日々の活動プログラムを設定する事で、活動内容がマンネリ化や偏りがないようにしている。 ・季節のイベントを実施する事で、四季を感じられ、子どもたちが普段とは違った刺激や経験ができるようにしている。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士の交流の場の提供が不十分であった。	・感染対策や、時間的制限、職員体制の課題、ならびに保護者の多様な就労状況により日程調節が困難であった。	・開催日を分ける、二部制で行うなどの工夫をする事で、実施場所や職員の確保を行う。
2	・保育園、幼稚園や、地域の活動に参加する機会が不十分であった。	・感染対策や安全面への配慮、職員体制および調節時間の確保が課題。	・外部お出かけ支援や、地域の情報収集を行う。
3	・事故防止マニュアル等の公表が不十分であった。	・公表方法や周知体制の整備不足の為。	・玄関に配置しているマニュアルファイルの再度周知を行い、ブログや掲示物で周知する等の配慮を行う。

公表 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 ぶつときっず

公表日 令和8年3月6日

利用児童数 令和8年2月25日

回収数 26

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26				・走り回れるくらいのスペースがあると思う。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	26				・十分いると思う。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	2		1	・遊ぶスペース、お勉強スペースなど分かりやすい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25			1	・いつもきれい。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26				・受けられている。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25				・合っている。子どもの事をよく理解してくれている。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25	1			・面談をしてもらい、納得できる計画を提案してもらっている。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	1			・細かく具体的に書いてもらっている為分かりやすい。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	1			・思う。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	2			・毎回違ったプログラムをしてもらっている。	・より分かりやすいように、活動内容の視覚化を検討いたします。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	5	4	9	・質問の意味が分からなかった。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26				・丁寧に説明してもらっている。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	1			・いつも説明してもらっている。 ・面談時は丁寧に聞き取りがあり、説明時は目を通す流れだった。	・提示時のより分かりやすい工夫を検討します。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	4	2	10	・参加できるセミナーの手紙をもらった。 ・事業所入口に保護者向けの勉強教材本が置かれているので助かる。	・ご家族の方にも参加していただけるような研修会などを検討します。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	25	1			・子どもがまだ自分の事を話さないの で、お迎え時などにその日の様子を伝えてもらっていてありがたい。 ・送り迎えの時に今日の出来事などを伝えてもらっている。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	1		1	・定期的にしてもらっている。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26				・寄り添ってもらえていると思う。	
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	5	4	10	・昔はあったが最近はないので、またイベントがあると情報交換できるため嬉しい。	・ご家族さまの交流の場となるようなイベントや集まりの開催を検討させていただきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	2				・定期的な相談の場のお声がけや、相談対応について周知に努めます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	1			・送り迎えなどでその日の様子などを教えて貰えて助かっている。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	2		2	・ブログを見るのが楽しみ。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25				・ブログなどでも顔はスタンプなどで分からないように配慮してもらっている。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	2	1	5	・ブログで見た。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	4	1	11		・訓練の実施について、ブログを通して様子がお伝え出来るようにしていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	2		1	・行われていると思う。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	1		2	・何かあった時はすぐ教えて貰えている。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25				・大好きな場所。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24			1	・感情を口にする事がないので、でも、嫌がることなく通所している。 ・子どもは嫌がることなく通っており、子どもの様子から通所を楽しみにしていると思う。 ・幼稚園を頑張ったご褒美に事業所に行けると思うくらい楽しみにしている。 ・行く日を楽しみにしている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	1			・いつも先生方が優しく対応してくれるため子ども保護者も満足している。 ・いつもありがとうございます。これからも親子共々よろしく願います。 ・たくさんの友達や先生との日々が楽しくて色んな活動も出来て有難い。	

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	ぶっときっず		公表日 令和8年3月6日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		十分な活動スペースが確保されている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		保育士や児童指導員、言語聴覚士が配置されている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		個別療育で使用する部屋と集団療育で使用する部屋が分けられている 分かりやすいように写真やイラストで視覚化されている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		使用したものは必ず消毒している 必要なもの以外は見えないところにあるため 過ごしやすい	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		身体を動かすフロアと机上活動出来るフロアを分けるなど、状況によって使い分けている	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	毎日、朝礼時終礼時に情報共有している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	終礼時など、意見を伝える時間がある	話し合う場の時間を十分にとる
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		定期的に外部から言語聴覚士の講師を招き、研修をしている 外部研修に参加出来る機会がある	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		モニタリングで保護者のニーズを確認し、日々の送り迎えでの保護者とのやり取りや連絡帳の内容が反映されている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		保育士や言語聴覚士など、スタッフ全体で検討している	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		スタッフ全員で共有後、個人ファイルがいつでも確認できるようにしており、スタッフが随時確認出来る	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		SS法を参考にした言語評価が行われている	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		スタッフ全員が携われるように担当制にしている 毎日の振り返りでプログラムの意見を出し合っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		様々な活動が出来るよう、担当者を変えて日々のプログラムを計画している	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎朝、朝礼時に必ず、担当の振り分け等確認している		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		毎日、終礼時には、その日の児童の様子や気付きを共有している		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		タブレットを活用し、記録と情報の共有を行っている		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7				
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		サポートブック作成や、支援方法の共有を行っている		
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		7			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			お迎え時の申し送りで保護者と話し、情報共有を行っている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5			児童に合わせた支援方法等の共有のみではなく、研修の機会を検討する
40	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7				
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			モニタリングで保護者の要望を確認し、計画を作成している	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			日々の申し送りで、様々なスタッフが対応することで、保護者の方の話しやすさに繋げている	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		兄弟児が参加出来るようなイベント等を検討する
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		ブログに活動の内容を掲載している
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		大切な確認事項は、文章で残すようにしている
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		スタッフ間での研修を実施した
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	3	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		事故があった際の記録を取り、全員で共有している
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			